



東京金山会通信 No.45

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

令和5年 新年のご挨拶



会長 高橋 和雄

新年明けましておめでとうございます。東京金山会の会長に就任いたしまして半年が過ぎました。昨年、新型コロナ禍の中で3年ぶりの東京金山会開催では、金山町から佐藤英司町長をはじめ、町議会議員の方々、ご来賓の皆様と多くの参加者の中で開催出来ました事を、金山会役員一同、嬉しく思っております。

これまで着々と続いてきた東京金山会ではありますが、このままで安泰かといえば、決してそうではありません。今までにないアイデアを考え出して、東京金山会と、ふるさと金山町の絆を深めてお役に立てる事はないかと思ひ、7月から月に一度の“かねやま市”を開催しています。少しずつではありますが、実績が上向きになってきました。

本年も引き続き、東京金山会へのご支援・ご協力を賜われれば幸いです。また、金山町出身者との親睦を深めるためにも、知り合いの方がおられましたら、東京金山会事務局まで連絡をいただければと思っております。

令和5年の活動予定



令和4年12月3日(土)、役員会を行いました。令和5年の高橋会長の体制継続、第64回総会の令和5年6月18日(日)開催、総会準備のための役員会日程を確認しました。日程は記載の通りです。総会準備の状況については、あらためてご報告いたします。

- 1月28日(土)：準備に向けた任務分担
- 3月25日(土)：案内状などの作成物確認
- 4月15日(土)：案内物発送
- 6月3日(土)：出席者確認
- 6月17日(土)：開催前日作業
- 6月18日(日)：第64回東京金山会 総会

No.203 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『もうじきたべられるぼく』
(はせがわゆうじ/作
中央公論新社)

「ぼくはうしだからもうじきたべられるのだそうだ…」運命を受け入れた【ぼく】が向かった先は…。【ぼく】の最後の願いとは…。そして【ぼく】が下した決断は…。
ぼくがまだちいさかったころ、やさしく包みこんでくれたお母さん。お母さんに会いたい。一度でいいからうまのように草原をのびのびと走り回ってみたいかったな。おなじ動物なのにだれにも知られずに食べられるのか…。この物語は、いただきますの向こうの物語。ありがとうを食べて人は成長していく。あなたは何を感じるでしょうか。【ぼく】のように、すべてを受け入れられるでしょうか。



※()内作者名

今月は2冊!

君のクイズ (小川哲)

月の立つ林で (青山美智子)

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



『宙ごはん』
(町田そのこ/小学館)

宙(そら)には育ててくれている『ママ』と産んでくれた『お母さん』がいる。時に厳しく、愛情たっぷり育ててくれたママ、子供っぽいキレイなお母さん。二人の母親がいるのは宙にとつてすごく幸せなことだった。家族とは、母親とは、愛情とはなんなのか。宙は成長しながらいろいろなことを学んでいく。



『100万回死んだねい』
— 覚え違いタイトル集 —
(福井県立図書館/講談社)

「下町のロボット」→「下町ロボット」
「その辺の石」→「路傍の石」
本の正確なタイトルは、なかなか覚えづらいものは、なかなか覚えづらいもの。そしてうっかり間違えて覚えてタイトルを文字通りに想像してみたら、とんでもなくシニールでもおもしろすぎる事態になっていた。「覚え違い」を文字通りに表したイラストを添付。クイズ感覚で楽しめる一冊。

～図書貸し出しについて～

暖かい部屋で、本の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。教育委員会前の廊下に図書の一部をご用意しております。お気軽にお立ち寄りください。 ☎52-2902



金山町
集落支援員

集落支援員
栗田 伸一

続・モルック

先日の山形新聞に山形県モルック協会会長、高窪さんのコメントが掲載されていました。その内容は、ここ数年のモルックの盛り上がりは、わかってくる楽しいものでした。実は山形県は全国で4番目に協会を立ち上げたモルック先進地でもあり、県内あちこちで多くのモルック大会が開催されています。
我が町でも、この1、2年でモルックを知る人が増えてきました。集落支援員がモルックを片手に町内各地に顔を出し、200人以上の町民の皆さんとモルック棒を投げ合った成果なのかもしれません。おかげさまで今年度に入っても「モルック」という言葉はあちこちで聞こえてきます。(私の周囲だけでも聞こえてきませんが…)せっかくなので盛り上がりです。流行が定着するまで、もう少し後押しをさせていただきたいと考えています。

れ、皆さんの町内移動を便利にしてくれる交通機関となっています。冬のモルック教室が、今後のデマンドハイヤーの利用や、改善センターの利用促進に繋がることも期待してまいります。また、いくつかの地区公民館でのモルック教室も進めていきたいと考えています。地区公民館で行える地区は、地区公民館でモルック棒を投げる、改善センターで行える方々は改善センターに集まってモルック棒を投げる、そんなスタイルをイメージしています。私も様々な研修に参加し、講師も経験しながら、モルックの新しい楽しみ方を学ばせていただきました。そもそもモルックって何?という方にもその面白さが届くよう、まだまだ盛り上げて参りますので、この冬ももう少しモルックにお付き合いください。



地区公民館でのモルックの様子



Facebookの活動を発信しています!ぜひチェックしてください。

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四七〇回

古寺の上り 檻に濃竜胆 星川 キエ子
枯木山小砂利の道を借景に 岸 あき子

鶴鶴の長き尾を振り砂走る 菅 越 庄司 けみ子
錦木に袖触れ合ひて溢れ落ち 暮 早 師 走 夕 餉 の 味 覚 鍋
霜降の音なす風に舞ふ落葉 散 紅 葉 下 駄 に 張 り つ く 落 葉 かな
秋の庭とばけ咲きする九輪草 サ ッ カ ー 戦 勝 負 の 世 界 年 暮 れ る

新蕎麦の器用に箸で異邦人 七 日 町 青 柳 キエ子
微笑返へし遺影に手を振る菊日和 飯 坂 の 日 暮 は 早 し 紅 葉 山
微 笑 返 へ し 遺 影 に 手 を 振 る 菊 日 和 小 六 月 名 物 み や げ の 品 さ だ め

言葉少なに別れし後の落し文 老 一 ツ 歳 を 重 ね る 十 二 月
暖房の誘ひに開くウツボ草 濡 っ て 尚 孫 の 元 気 な 雪 遊 び
栗田 弥超 老夫婦言葉少なく冬炬燵

かねやま紅風会

新米や食の幸せ噛みしめる 荒 屋 阿 部 勝 子
或りし日の思い出しのお秋日より 浮 っ て 立 つ 冬 日 に 映 へ る 出 羽 の 富 士
新米を載せて都に初出荷 高 速 の 怖 さ 恐 れ る 雪 の 事 故
茶山花の紅き花びら散り染めし 茶 山 花 の 紅 き 花 び ら 散 り 染 め し

菅 越 庄司 けみ子
暮 早 師 走 夕 餉 の 味 覚 鍋
散 紅 葉 下 駄 に 張 り つ く 落 葉 かな
サ ッ カ ー 戦 勝 負 の 世 界 年 暮 れ る

七 日 町 青 柳 キエ子
飯 坂 の 日 暮 は 早 し 紅 葉 山
小 六 月 名 物 み や げ の 品 さ だ め
文 化 の 日 そ へ て 祝 っ や 華 道 展
夕 映 へ の 暮 れ る 冬 田 の 美 し き
散 る 紅 葉 秋 の 夕 日 を 借 し み け り

上 台 阿 部 一 步
老 一 ツ 歳 を 重 ね る 十 二 月
濡 っ て 尚 孫 の 元 気 な 雪 遊 び
老夫婦言葉少なく冬炬燵